

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	恋するなすしおばらマルシェ
事業主体の名称	まちづくり委員会
代表者の名称	室越 礼一
事業主体の所在	〒329-3146 那須塩原市下中野913
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「まちづくりは人づくり」の指針のもと、地域活性化のイベントや各種勉強会を通して人材育成を図り、地域に貢献する。</p> <p>・設立年月日:平成16年10月1日</p> <p>・設立経緯:平成17年1月1日の3市町合併に当たり、那須塩原駅周辺(東那須野地区)の活性化を目指して設立された。</p> <p>・構成員等:市内東那須野地区 商工業関係者、地域住民 20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今までは、地域内の農観商工に関わる方がそれぞれ独自に勉強会や単発イベントを実施してきたが、効果が限定的であった。そのため、農観商工それぞれの分野における人材を育成することを目的に、「なすしおばらフェスタ」を開催して、地域産業活性化を図ってきた。しかし、新たな地域産業や、就業者の増加につながっていないため、いかにして分野を超えた異業種交流・連携を進めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>多くの観光客等が行き交う那須塩原駅前前でマルシェを開催し、農観商工が同時に交流する場、市民、観光客等とも直接つながる場を創出することにより、相互のネットワークを構築するとともに、新しい発想を生み出し、産業の活性化を図ることを目的とする。さらに、新たな発想から生み出された事業(仕事)により、就業の場を創出することを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■恋するなすしおばらマルシェの開催</p> <p><内容></p> <p>那須塩原駅西口広場にてマルシェを開催した。那須塩原産の野菜やお米の販売、塩原温泉、板室温泉のPR、地元野菜を使用した飲食店の出店、那須塩原市のPRを行った。農観商工の出店者が連携できるようにするため、開催前の出店者会議を実施する他、SNSを利用しグループを構築。また、マルシェを開催することにより出店者同士の繋がりをづくり、週末起業家やこれから起業する人を応援する。</p> <p><実施日></p> <p>平成30年6月3日、7月1日、8月5日、9月2日、10月7日</p> <p><各回来場者数></p> <p>1,500人から2,000人</p> <p>《観光誘客のための情報発信》</p> <p>・ポスター、チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。また、広告費削減のため、SNSを活用した情報発信に重点を置く。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】・未来を創る地域産業の活性化のために ・未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Koyou(雇用)」新規就農者、創業者への支援、「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。</p> <p>【目標指標】就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人(国勢調査)】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	なすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催		恋するなすしおばらマルシェの開催
事業費	1,178,483	1,194,866	425,317	2,798,666	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	792,000	756,000	172,800	1,720,800	0
うち県交付金	396,000	378,000	86,400	860,400	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	386,483	438,866	252,517	1,077,866	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	恋するなすしおばらマルシェ	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	172,800	
自己資金	252,517	会負担(企業協賛、会費)
計	425,317	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	88,441	27,000	13,500	61,441	ゴミ袋、事務用品
食糧費	21,656	0	0	21,656	会議時飲物代等
印刷製本費	239,760	109,700	54,850	130,060	ポスター、チラシ
通信運搬費	12,200	6,100	3,050	6,100	郵送料、切手
手数料	3,260	0	0	3,260	振込み手数料
保険料	60,000	30,000	15,000	30,000	損害保険
予備費	0	0	0	0	
計	425,317	172,800	86,400	252,517	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須塩原市
事 業 名	身近な生き物の野外観察
事業主体の名称	ジュニア生き物クラブ
代表者の名称	松村 雄
事業主体の所在	〒325-2745 那須塩原市三区町658-72
事業主体の概要	<p>・団体の目的:自然に接する機会が乏しく、生き物を肌で感じる事が少なくなった子供たちに、身近な生き物に触れ親しみ、観察したり調べたりする機会を与える。子供たちが、実体験を通して多様な生き物がすむ自然のすばらしさに触れ、感じ取ることにより、自然の大切さや生命の尊さを学ぶことを目指す。</p> <p>・設立年月日:平成25年6月23日</p> <p>・構成員等:14人(指導員)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>現在の子供たちは、テレビ・ビデオの映像や読書で豊富な知識を得ることはできるが、直接自然に接する機会は乏しい。子供たちが地域の身近な生き物に親しみ、実体験を通して感覚的に自然を知り、科学的な視点から自然のシステムを理解することが必要である。</p>
事業目的	<p>那須塩原市の豊かな山野で、地域の子どもたちに直接自然と接してもらい、体験をとおりて自然を学んでもらう。また、多様な生き物を観察し、親しむことで那須塩原市の自然環境の素晴らしさを知り、魅力的な地域資源として再認識するとともに郷土愛の醸成につなげることを目的とする。さらに、活動内容について情報発信することにより、市内外の子育て世代が、豊かな自然環境の中で、体験を通して成長することができる子育て環境の良さを認識してもらおう。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p><対 象>市内の小学生16名</p> <p><内 容>6/3身近な自然探検(烏ヶ森公園)、6/24水辺の生き物調べ(西公民館池)、7/22山の動植物の観察(塩原地区) 8/26セミのぬけがらしらべ(烏ヶ森公園)、9/23赤とんぼを探そう(那須野営場)、10/28秋の植物調べ(那須野営場) 11/25土の中の動物しらべ(那須野営場、外部講師)、12/16野鳥の観察(鳥野目河畔公園)、1/26冬の森探検(大沼園地)、2/24閉校式、親子ピザ作り体験</p> <p>《情報発信》</p> <p>・事業の実施にあたり、HPや広報、市内各所でのチラシの配布により参加を呼びかけた。また、活動の様子を、HP等に掲載し、那須塩原市の自然と、体験教育の機会充実についてPRした。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p>検証・分析を踏まえ、より多くの子供たちに実際に自然に触れ合う体験の機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察		身近な生き物の野外観察
事業費	235,358	150,754	145,000	531,112	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	172,272	70,000	50,000	292,272	0
うち県交付金	86,136	35,000	25,000	146,136	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	63,086	80,754	95,000	238,840	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	身近な生き物の野外観察	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	70,000	
自己資金	32,754	会負担
参加者負担金	48,000	3,000円×16名
計	150,754	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	10,000	7,000	3,500	3,000	講師謝礼
消耗品費	29,056	20,300	10,150	8,756	理科消耗品等、事務用品、 食材等
印刷製本費	5,090	0	0	5,090	コピー代
手数料	108	0	0	108	振込み手数料
保険料	25,600	16,800	8,400	8,800	損害保険
使用料及び賃借料	80,900	25,900	12,950	55,000	借り上げバス、スノーシュー レンタル
計	150,754	70,000	35,000	80,754	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-
事業主体の名称	大山コミュニティ運営委員会
代表者の名称	田口 常信
事業主体の所在	〒329-2712 那須塩原市下永田8-7-86 (大山公民館内)
事業主体の概要	・団体の目的: 地区内組織・機関・団体との連携を密にし、コミュニティづくりの計画及び運営について、住民の意思反映と住民の自主参加を促進して、住民相互の連帯感と生活文化の向上を図り、明るい地域づくりに資することを目的とする。 ・設立年月日: 平成2年8月5日 ・構成員等: 地区住民等 10,165人
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、都市化が進み、様々な生活上の問題が浮上してきた。特に地域住民の連帯意識が薄れ、地域の「絆」が弱体化してきており、災害や高齢者の見守りに対応しにくい状況にある。また、地域の伝統行事や地域にある様々な団体の組織編成や運営に支障が出てきている。そのため、住民相互の連帯意識を高め、地域力を向上させることが必要である。
事業目的	地域の連帯意識を高めるために、住民の意識啓発を図り、地域住民が安心して暮らすことができる「絆」づくりの実現から「地域力の向上」に寄与することを目的とする。
事業概要	【平成30年度】 ①②「あいさつ運動」「声かけ運動」意識啓発のためA2版ポスターを店舗や学校に配布、A4版ポスターを地域2,600枚配布 ③電柱巻き看板の10本追加設置、地域住民及び学校から標語を募集した。設置箇所は地図にプロットして管理している。 ④⑤ボランティア「きずなづくり隊」の追加募集、活動(通年) 大山小と連携して、「大山地区安全安心マップ」を作成した。 ⑥ヒヤリハット研修の実施(1/24) 大山小、那須清峰高校と協働で実施 ⑦HUGゲームの実施(12/15)、4自治会とコミュニティの一斉合同避難訓練を実施(9/9)、消防署の協力を得て消火訓練、心肺蘇生を実施 【平成31年度以降】 事業を継続し、本コミュニティの「地域安全部会」が主体的に企画・実施をする。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を守る災害対応力の強化のために ②未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】Kurashi(暮らし)「安心・安全な生活環境の確保、「Kouryu(交流) 地域コミュニティの活性化に寄与する。 【目標指標】①災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】 ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H28実績 175人転出超過】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤きずなづくり隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ		①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③電柱巻き看板の設置 ④きずなづくり隊の活動 ⑤ボランティア活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム、各自治会との一斉避難訓練、ワークショップ
事業費	936,584	334,415	300,000	1,570,999	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	842,925	230,000	150,000	1,222,925	0
うち県交付金	421,462	115,000	75,000	611,462	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	93,659	104,415	150,000	348,074	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	230,000	
自己資金	104,415	コミュニティ負担金
計	334,415	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	4,620	3,234	1,617	1,386	講師謝礼
消耗品費	113,825	79,678	39,839	34,147	軍手、テープ、結束バンド、事務用品等
印刷製本費	151,502	101,960	50,980	49,542	ポスター、チラシ、安全安心マップ等
通信運搬費	18,028	12,620	6,310	5,408	切手、はがき代
委託料	46,440	32,508	16,254	13,932	電柱巻き看板作成
計	334,415	230,000	115,000	104,415	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～ 那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い
事業主体の名称	グローバルカルチャー那須
代表者の名称	和田 準夫
事業主体の所在	〒325-0103 那須塩原市青木25-1540
事業主体の概要	・団体の目的:那須地域を発信地として、文化、芸術の振興を図ると共に、その基盤である環境の保全と観光の健全なる共生発展のため、これらの活動に関する調査、研究、宣伝および情報提供、その他関係諸機関と連携を図り、文化の伝承と向上に努め、会員相互の親睦と融和を図り、もって地域の活性化と人材育成に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成16年2月18日 ・構成員等:会の目的に賛同する個人(27人)
当該事業に係る地域の現状と課題	那須塩原市とオーストリアのリンツ市は、姉妹都市提携を結び、1年を経過した。国際交流の観点から、行政、市民による様々な分野での交流が期待されているが、身近に交流機会が少ないことも事実である。相互の地域の活性化及び人材育成を促進するためにも、相互理解と友好を深める効果的な交流を行うことが課題である。また、オリンピックのキャンプ地にもなったが、市民にとって情報が少なく、関心がない。
事業目的	姉妹都市であるリンツ市との市民レベルでの文化交流の活性化を図ることにより、本市の国際交流の一助になることを目的とする。
事業概要	【平成30年度】 ■市民レベルの文化交流「公開報告会」 ＜開催日＞平成30年9月2日 ＜場 所＞那須塩原市三島ホール＜参加者＞約150名 ＜内 容＞市民レベルの国際交流の活発化や気運を高めるため、リンツとの交流、リンツの文化を取材したものをコンテンツ化し、市民に公開報告会として情報提供を行った。市民が姉妹都市リンツを知るきっかけを作り、国際交流の啓蒙を図る。市民レベルでは、まだ姉妹都市に関する情報が乏しく、関心も乏しい状態にある。リンツの文化、リンツの人々の生活(毎週開かれるマルシェや、地元で根付いた祭りなど)を取材したコンテンツを作成、また、リンツ市民が初めて触れる日本文化への反応も盛り込んで作成した。作成したコンテンツは、中学生のリンツ市への派遣事業の事前学習用の資料など、各方面で無料で活用できるよう提供した。 《情報発信》 ・事業の実施にあたり、HPへの掲載、チラシ、ポスターを市内施設に設置した。 【平成31年度以降】 オリンピック等も見据えて、市民が国際交流に関心を持てるよう事業を継続していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】「Kouryu(交流)」国際交流の推進に寄与する。 【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る事。【H28実績 175人転出超過】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の初演	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～ 那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～		～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～
事業費	1,571,572	825,628	700,000	3,097,200	700,000
市町支出金 (ソフト事業分)	900,000	554,400	350,000	1,804,400	0
うち県交付金	450,000	277,200	175,000	902,200	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	671,572	271,228	350,000	1,292,800	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室	
担当者名	田中 幸子	
連絡先	電話	0287-62-7151
	FAX	0287-62-7220
	E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	～姉妹都市リンツ市との和文化交流をめざして～ 那須塩原市の文化とリンツ市の文化の初めての出会い	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	554,400	
自己資金	271,228	会負担
計	825,628	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	100,000	70,000	35,000	30,000	報告会出演者謝礼
旅費	71,890	39,620	19,810	32,270	報告会出演者旅費
印刷製本費	32,400	22,680	11,340	9,720	チラシ、プログラム
使用料	53,000	37,100	18,550	15,900	会場使用料
委託料	550,000	385,000	192,500	165,000	取材委託、コンテンツ編集
食糧費	18,338	0	0	18,338	弁当
計	825,628	554,400	277,200	271,228	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人子育てほっとねっと
代表者の名称	西田 由記子
事業主体の所在	〒329-2754 那須塩原市西大和6-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:子育ての支援を必要としている家庭に対し、地域において地域の人の手による子育て支援と子育てのネットワークづくりに関する事業を行い、世代をこえた交流と通し、家族が安心して生活できる地域づくりを行うことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成24年2月16日</p> <p>・構成員等:正会員30名、ささえあい会員2名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、子育て支援のメニューは充実してきており、当法人も市からの委託事業ファミリーサポートセンターを実施してきた。その中で浮かび上がってきた課題として、そのような支援の場に出てこられる家庭は良いが、出てこれない家庭がたくさんあり、こちらから出向いていくアウトリーチ型の子育て支援の方法が必要である。
事業目的	家庭訪問型子育て支援ホームスタートの担い手であるホームビジターの養成を行い、孤立している乳幼児を持つ家庭の子育てを支援していくことを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」事業実施のため、子育て家庭を支えるホームビジターの養成講座を開催した。また、「ホームスタート」について広く周知を行うための説明会を開催した。</p> <p><内容></p> <p>7/8ホームスタート説明会の実施、8/28、9/4、9/11、9/18、9/25、10/2、10/9、10/16・17ホームビジター養成講座(8回)実施</p> <p>予定より早く、11月からホームスタートを開始することができた。</p> <p><参加者> 説明会 30名参加、ホームビジター養成講座 13名受講</p> <p>《情報発信》</p> <p>・チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。また、法人ホームページ、市の広報誌に掲載し情報提供を行った。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>ビジター養成が済み次第、乳幼児をもつ子育て家庭に向けてホームスタートの広報を行い、ホームスタートの事業を開始する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業	家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業		家庭訪問型子育て支援 ホームスタート・ホーム ビジター養成事業
事業費	477,651	400,000	400,000	1,277,651	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	267,858	210,000	150,000	627,858	0
うち県交付金	133,929	105,000	75,000	313,929	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	209,793	190,000	250,000	649,793	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@cityv.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	家庭訪問型子育て支援ホームスタート・ホームビジター養成事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	267,858	
自己資金	209,793	会負担
計	477,651	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
賃金	170,207	0	0	170,207	スタッフ賃金(補助対象外)
報償費	200,000	180,000	90,000	20,000	講師謝礼(説明会、養成講座前8回)
旅費	51,360	46,224	23,112	5,136	講師交通費(説明会、養成講座前8回)
消耗品費	24,742	22,266	11,133	2,476	ふせん、マジック、模造紙等
印刷製本費	16,101	14,490	7,245	1,611	チラシ印刷
食糧費	10,700	790	395	9,910	講師飲料水(877円対象)弁当・茶菓子(9,823円対象外)
通信運搬費	2,441	2,198	1,099	243	切手・郵送代
保険料	2,100	1,890	945	210	損害保険
計	477,651	267,858	133,929	209,793	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	那須塩原市
事 業 名	地域による子育て交流事業
事業主体の名称	特定非営利活動法人ゆめがくどう
代表者の名称	後藤 政人
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉8-120
事業主体の概要	<p>・団体の目的:那須塩原市民及び周辺住民に対して、放課後児童クラブの事業を行い、子どもたちが健全に育っていく環境をつくり、豊かな人間性を育てることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成28年9月30日</p> <p>・構成員等:正会員60名、賛助会員104名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>世代間交流の場がなくなり、子育てが孤育てになり、地域で子どもを育てる機会が少なくなっている。子供は決められたルールの中で生活し、自分で考え行動する機会が減っている。また、共働きの家庭が増え、放課後児童クラブの重要性が高まっているが、社会的理解が進んでいない。</p>
事業目的	<p>共に生きる仲間づくりという観点から、子供、保護者だけでなく、今を生きる私たちが「子どもをまんなか」に仲間づくりをしながら、スクラムの組める社会づくりの構築を目指す。地域に見守られた中で、子どもが昔の遊びや集団遊びを通して、自ら考え行動できる力をつけることを目的とする。また、子供にとっての遊びは、成長する過程で必要不可欠な社会教育であることを広めることを目的とする。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■ゆめがくどうフェスタの開催 <内容>地域ぐるみでの子育ての必要性から、地域住民、保護者、子どもが一体となって、「昔の遊び」や「集団での遊び」など遊びの楽しさを体験してもらうイベントを実施。スポーツチャンバラ、遊びのテント、靴飛ばし大会、マジックショーのほか、地域のボランティア団体によるバルーンアート体験、森林組合によるコースター作り体験などのブースを設けた。また、市内の各放課後児童クラブの保護者会が出店し、子育てをする親同士が交流できる場づくりを行った。 <開催日>10月8日 <参加者> 約1,800人</p> <p>■講演会の開催 <内容>地域で子育てができる社会とするための講演会を実施した。 演題 「気づいていないかも・・・子供の気持ち」～今、子どもの身近で起こっていること～ 講師 岡崎勝氏 <開催日>2月3日 <参加者>171名</p> <p>【平成31年度以降】 引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実、「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業	地域による子育て交流事業		地域による子育て交流事業
事業費	491,298	500,000	500,000	1,491,298	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	420,440	350,000	250,000	1,020,440	0
うち県交付金	210,220	125,000	125,000	460,220	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	70,858	150,000	250,000	470,858	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域による子育て交流事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	420,440	
自己資金	70,858	会負担
計	491,298	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	143,000	128,700	64,350	14,300	講師謝礼
消耗品費	52,443	47,198	23,599	5,245	事務用品、用紙
燃料費	2,241	2,016	1,008	225	フェスティバル用軽トラック ガソリン代
食糧費	24,220	70	35	24,150	講師飲料水78円のみ 補助対象
印刷製本費	38,772	34,896	17,448	3,876	ポスター、チラシ
通信運搬費	974	877	438	97	切手代
保険料	2,208	1,987	994	221	賠償責任保険
使用料	150,600	135,540	67,770	15,060	会場・バス借り上げ料
委託料	76,840	69,156	34,578	7,684	駐車場交通整理、託児委託
計	491,298	420,440	210,220	70,858	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業
事業主体の名称	黒磯七区自治会
代表者の名称	小泉 信三
事業主体の所在	〒325-0013 那須塩原市鍋掛1087-1131
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:会員相互の理解を深め、効力して明るく住みよい地域社会を創ることを目的として設立 ・設立年月日:昭和62年3月1日 ・構成員等:黒磯七区自治会422戸
当該事業に係る地域の現状と課題	当自治会には70名の小学生がいるが、育成会長が毎年交代し、継続的な活動が難しいという状況がある。子どもたちが、自分の住む、所属する自治会を意識する機会がほとんどないと言っても過言ではない。自治会離れが心配される現代において、未来を担う子どもたちに自分の住む地域に対する愛着を持たせる必要がある。
事業目的	子どもたちが、自治会の清掃活動や、敬老会の協力など、自治会行事に参加をすると自治会通貨「クローナ」がもらえるという事業を実施し、自治会活動への参加を促す。ひいては、自治会の一員としての自覚を形成させる一助とする。また、自治会事業の運営にも参加する機会を与えることにより、主催者意識を形成する。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>子供たちの自治会参加を促す事業として、下記の自治会の地域活動に参加した子供たちに地域通貨「クローナ」を配布した。クローナ交換場所(黒七フリマ)では、昔の遊びができる機会を設ける等の工夫をし、参加を促した。事業の最後には、子供たちに☆いくつアンケートを実施し、事業の事後評価を行い、昨年度の評価3.2から3.4へ上昇した。</p> <p>①春秋の一斉清掃活動事業参加34名 ②清掃活動(通年)28名 ③黒七こどもだより発行(各号全戸配布) ④5月~11月黒七フリマアルミ缶回収 4,390個(79クローナ配布)⑤7/23~8/25ラジオ体操愛好会参加 児童延べ263名参加(5回以上参加者にクローナ配布)⑥9/17黒七敬老会参加協力児童 17名 ⑦10/21とよらスポレクまつり参加 児童18名 ⑧12/16三世代ふれあい餅つき大会 児童15名 ⑨黒七自治会☆いくつ子供アンケート</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>効果測定は、参加人数と、自治会☆いくつアンケートにより確認し、認知度を図りながら事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」地域コミュニティの活性化に寄与する</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること。【H28実績 175人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業		子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業
事業費	52,741	50,000	50,000	152,741	30,000
市町支出金 (ソフト事業分)	45,000	35,000	25,000	105,000	0
うち県交付金	22,500	15,000	12,500	50,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	7,741	15,000	25,000	47,741	30,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	子どもたちの自治会参加を促す地域通貨発行事業	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	45,000	
自己資金	7,741	会負担
計	52,741	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	52,741	45,000	22,500	7,741	昔の遊び用品(メンコ・けん玉等)、クローナ手帳用紙、事務用品
印刷製本費	0	0	0	0	
計	52,741	45,000	22,500	7,741	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業主体の名称	そすい通り商店会
代表者の名称	山本 博一
事業主体の所在	〒 329-2754 那須塩原市西大和5-10
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地域活性化・地域の向上・地域コミュニケーションの場作り等を目的とし、加入事業者がその目的のために一つになって課題に取り組むことを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和58年1月1日</p> <p>・構成員等:29人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	西那須野地区は中心市街地が空洞化し、交流人口が減少している。商店街では、昔から地元で活躍している「匠の技」をもつ事業者が高齢化し、「匠の技」が途絶の危機にある。また、地域住民も高齢化してきており、空洞化を加速させ、地域の賑わい、交流が薄れてきている。
事業目的	世代を問わず、生活の知恵や匠の技を伝授したり、子どもたちに体験の場を提供する。また子どもたちは、親と一緒に作業することで、家族の触れ合いの機会を作る。また、チャレンジ大学の参加者同士のコミュニケーションが増え、交流の場となり、市民の目で地域を見守っていきけるような社会を目指す。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>■チャレンジ大学 <内容>一般市民受けに、世代を問わず地元での「匠の技」等を体験してもらうチャレンジ大学を開催した。 <日程・参加者>6/24レーザーコインケース作り教室 参加者13人、7/8音を楽しむ時間 参加者20人、7/22夏休み木工教室 参加者22人、8/18ポインコと一緒にチャレンジ 参加者18人、10/13畳作り体験 参加者15人、11/24ヨガ体験教室 参加者20人、12/16パン作り体験 参加者3人、2/3恵方巻作り体験 参加者25組(55人)、2/9防災セミナー 参加者10人、2/16料理教室 参加者7人</p> <p>■防災セミナー <内容>市内の事業所と連携し、防災士を招いての防災セミナーを開催した。 <日時>2/9 10:00~11:30 そすいパーク <参加者>10人</p> <p>【平成31年度以降】 引き続き、事業を継続していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために②未来を創る地域産業の活性化のために③未来に集う人々の活発な交流のために④未来を守る災害対応力強化のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」、「Koyou(雇用)新規創業者への支援」、「kouryu(交流)地域の活性化」、「Kurashi(暮らし)安全 安心な生活環境を作ることに寄与する。</p> <p>【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】 ②就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人】 ③定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H28実績 175人転出超過】 ④災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学		地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学
事業費	774,360	1,000,000	800,000	2,574,360	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	635,274	616,000	340,000	1,591,274	0
うち県交付金	317,637	308,000	170,000	795,637	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	139,086	384,000	460,000	983,086	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域活性化・地域コミュニケーション作りを目的としたチャレンジ大学	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	635,274	
自己資金	76,586	会負担
参加者負担金	62,500	500円×125人
計	774,360	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	60,000	18,000	9,000	42,000	講師謝礼
消耗品費	167,500	148,950	74,475	18,550	事務用品、用紙代、原材料費(量キット、木工体験材料等) ※花束代2,000円は補助対
食糧費	4,000	0	0	4,000	
印刷製本費	188,676	169,808	84,904	18,868	ポスター、チラシ
保険料	0	0	0	0	
委託料	329,184	296,266	148,133	32,918	新聞折り込み
使用料	25,000	2,250	1,125	22,750	水消火器、コンロレンタル等
計	774,360	635,274	317,637	139,086	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ なしお博「みんなの学校」上映特別講演 木村泰子先生講演会
事業主体の名称	家庭教育オピニオンリーダー たんぽぽの会
代表者の名称	林 美幸
事業主体の所在	〒 325-0033 那須塩原市埼玉247-7
事業主体の概要	・団体の目的:本会は、黒磯地区家庭教育オピニオンリーダーとしての資質の向上を図るとともに、地区の家庭教育の向上に貢献する。 ・設立年月日:平成4年4月10日 ・構成員等:9人(黒磯地区の家庭教育オピニオンリーダー)
当該事業に係る地域の現状と課題	地域間交流・世代間交流の減少によって、地域で子どもを見守り・育てるといった意識が軽薄化してきており、虐待や貧困、発達障害といった生きづらさを抱える子どもたちへの相互理解が進まず、地域力の衰退が危惧されている。これらの課題に対して学習・意見交換の場を設け、問題提起することにより、希薄化した住民の相互理解や共同の精神を育む地域力を醸成する必要がある。
事業目的	子どもも大人も「多様性」を認め合い、学校や地域において、「自分とは違う隣人」が抱える問題を一人ひとり思いやる力を培うことの大切さに気付くことで、人と人の絆を深め、コミュニティ力を高め、より地域が活性化することを目指す。
事業概要	【平成30年度】 那須塩原市教育委員会主催の「なすしおばら学び博覧会」の中で、「みんなの学校」映画上映(市生涯学習課主催)との協働事業として、初代校長木村泰子先生の講義を実施。その後、家庭教育オピニオンリーダーがファシリテーターとなって意見交換、ふりかえりを行った。 <開催日>平成30年11月10日(土) <場所>宇都宮共和大学那須キャンパス <参加者>135名 《情報発信》 ・市ホームページへの掲載、チラシ、ポスターを作成し配布、下野新聞に掲載した。 【平成31年度以降】 「多様性を認め合う」インクルーシブ教育を引き続きテーマとし、次年度以降は、なすしおばら学び博覧会にて、「ワークショップ」等を行う。 【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために 【重点施策】「Kyouiku(教育)」不登校児童生徒への支援の充実 「Kosodate(子育て)」子育て支援体制の整備 【目標指標】①児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上 【H27実績 51点】
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成30年	平成31年	平成32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ なしお博「みんなの学校」上映特別講演 木村泰子先生講演会	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ ワークショップの開催	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ ワークショップの開催		～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ ワークショップの開催
事業費	193,126	50,000	50,000	293,126	50,000
市町支出金(ソフト事業分)	171,000	35,000	25,000	231,000	0
うち県交付金	85,500	17,500	12,500	115,500	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	22,126	15,000	25,000	62,126	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	那須塩原市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	～多様性を認め合い、人がつながる地域社会を目指して～ なしお博「みんなの学校」上映特別講演 木村泰子先生講演会	
対象年度	30	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
那須塩原市補助金	171,000	
自己資金	22,126	会負担
計	193,126	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	160,000	144,000	72,000	16,000	講師謝礼
印刷製本費	23,516	21,164	10,582	2,352	ポスター、チラシ印刷
消耗品費	9,610	5,836	2,918	3,774	印刷用紙、ファイル、クリップ ペン
計	193,126	171,000	85,500	22,126	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合